様式３(2015.06改)

作成日　平成 27　年　8 月　27 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200033
事業所名	グループホーム宝南の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	利用者は、近隣の散歩や買い物を定期的に行っており、地域の人との交流はある。また、地区の防災訓練にも参加している。今年度はいきいき支援センターの職員の協力を得て、地域の大学が開催した伊勢湾台風についての講演に参加している。現在当事業所で認知症カフェの開催が出来るように企画している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	年6回開催している。会議は事業所の活動報告、出席者からの要望や助言を貰い、職員がそれに対して答えている。その中で利用者の体調不良時の緊急対応の仕方などを話しあっている。他にいきいき支援センター職員から介護者研修など様々な研修の情報を貰い、職員が参加している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	介護保険課に認定更新の申請手続きに出向いたり、生活保護課の職員と利用者の事で相談したり助言を貰っている。市主催の認知症実践者研修などに職員は参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の来訪時や運営推進会議の中で要望や意見を聞くようにしている。家族からの要望の中で、利用者が夜間の入浴を希望しており、夕方に入浴して貰ったことで不穏が減った事例がある。毎月家族に日頃の暮らしぶりがわかる「宝南の家便り」を送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				